

マリーゴールドで染めた
紙でつくったランタンを
小学校の校庭でともしましょう！
クワの実のランタンと合わせて
約200個を並べます。

アーティスト アーティスト
谷本 研 × 森 太三 × みずのき美術館 × 亀岡小学校

ヤオロズ/ホコランタン・プロジェクト

四季折々の植物の ランタンをともしよう！

入場
無料

点とう

2025年

10/23(木) 17:15 - 19:00

- ※ 亀岡祭の宵々山の日にあわせ、亀岡小学校のグラウンドでランタンを灯します。
- ※ グラウンド内のみ、一般の方も入場可能です。
- ※ 雨天の場合は、小学校玄関ビロティにて点灯予定。
- ※ 強風など荒天などで中止の場合は、ホコランタンのインスタグラムでお知らせします(裏面QRコード)。
- ※ 今回灯すのは、8月に夏編として「みずのき美術館」でのワークショップでつくったクワの実染めのランタンと、9月に秋編として亀岡小学校の子ども達がつくったマリーゴールド染めのランタンの2種類です。
- ※ 2026年秋の「京都丹波みどりの里まつり」では、その他、季節ごとのいろいろな植物で染めた紙でつくったランタンを点灯する目標です。

会場：亀岡小学校グラウンド 京都府亀岡市内丸町15

主催：みずのき美術館、亀岡市立亀岡小学校

全国都市緑化フェア in 京都丹波にぎわい事業交付金の活用事業、魅力と特色ある学校づくり推進事業(申請中)

8月に咲いた花卉を使用

秋編
(マリーゴールド)

秋編 (マリーゴールド)

ヤオロズノホコランタンプロジェクト

今年3月(春編)と8月(夏編)に
それぞれ桜の枝とクワの実で染めた紙を使って
みずのき美術館でランタンづくりのワークショップを開催しました。
今回は9~10月に、亀岡小学校の子ども達が
マリーゴールドで染めた紙で作ったランタンを
クワの実ランタンとともにグラウンドで灯します。



▲採取したマリーゴールド



▲花弁を煮出す



▲煮出した液で染めた紙

かつて亀岡周辺は「桑田」という地名でした。
神様が植えたクワがその名の起源といわれ、八百万の神様が
集まって相談し、この地が切り開かれたという伝説もあります。
そんな由来にちなんで、クワをはじめ、地域で見つけたり育てたり
したいろいろな植物で、たくさんのランタンを作っています。

そして2026年秋の「京都丹波みどりの里まつり」では、
それらを三角屋根のほころに宿した「ホコランタン」として
亀岡の自然や田畑の中で点灯したいと考えています。
素敵なランドスケープを作り上げることが目標です。



ホコラ

+



ランタン

=



ホコランタン



【会場】

亀岡小学校 グラウンド

京都府亀岡市内丸町15 (JR亀岡駅から徒歩12分)

※ 小学校の駐車場は使用できませんので
公共交通機関でお越しください。
※ 正門ではなく、グラウンド側入り口からお入り下さい。

【お問い合わせ】

みずのき美術館



〒621-0861 京都府亀岡市北町 18
JR嵯峨野線亀岡駅下車南口より徒歩8分
www.mizunoki-museum.org



京都丹波
みどりの
里まつり

詳しくは
公式サイト
SNSを
チェック!

第43回全国都市緑化フェアin京都丹波 令和8年9月18日~11月8日開催



WEBサイト



Facebook



Instagram



X



YAOROZUNO_HOKOLANTERN